

「グローバル社会に対応する女性研究者支援」プロジェクト
<http://www.erp.sophia.ac.jp/Projects/wrsupport/>

NEWSLETTER

目次：

女性研究者支援について 思うこと	P1
理工学部特別研究員に女性 枠の募集がスタート	P1
【報告】 平成22年度男女共同参画推 進に関するシンポジウム 私立大学における男女共同 参画に係る環境整備と促進	P1
第5回女子学生キャリア アップ支援コロキウム& 育児支援セミナーを開催	P2
第6回女子学生キャリア アップ支援コロキウムを 開催	P2
第4回男女共同参画セミ ナー開催のお知らせ	P2
女子 高校生のための Sophia実験教室開催の お知らせ	P2

女性研究者支援について思うこと 総務担当理事 男女共同参画推進本部長 山岡 三治



「女性とアジア(日本を除く)が元気だ」という言葉をよく耳にするが、小学校まで中国の母子家庭で育ったT子さんもその一例だろう。T子さんは10年ほど前に来日し、日本国籍も取得して、今は東京の某薬科大学に熱心に通っている。物おじしない性格で日本語がまだたどたどしいときも同級生の男子と対等に議論していた彼女は、勉強が好きで将来化学の研究者になることをめざしている。睡眠時間を極端に削っての猛勉強のおかげで高い成績をおさめているが、日課がすさまじいので健康が心配だ。母親の腕だけに頼る生活は決して楽ではなく、諸経費の捻出のために平日放課後はレストランでアルバイト、土日

の夜は銀座の潇洒なカラオケバーで一晩中裏方をしている。彼女のように目標を高くもち、必死に努力をしている学生や研究者をなんとか支援したい、とくにいまだにハンディが多い女性研究者やその卵をサポートしたいと思うのはごく自然の情であり、それをシステムティックに行うために、本学は多くの人の知恵を必要としている。将来おのおのの女性研究者がどのような研究・教育態度を持つようになるかは、その研究者を育てた大学の性質も表すと思うと、大学自身の意義が問われていることになる。なぜなら学問や人を扱うことこそが大学の本質的使命なのだから。



理工学部特別研究員に女性枠の募集がスタート

上智大学理工学部において、2011年度特別研究員に女性枠の募集が始まりました。現在、理工学部内の女子学生の割合が約20%に対して女性研究者の割合が5%程度にとどまっており、女性研究者支援事業の実施を通して女性研究者により広く門戸を拓くことが必要です。そこで、「雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律」第8条(女性労働者に係る措置

に関する特例)の規定により、女性研究者の割合が相当程度少ない現状を積極的に改善するための措置として、女性に限定した公募を開始しました。また今年度より、理工学部の教員募集要項において「本学では平成21年4月より女性研究者支援プログラムを推進しています。優秀な女性研究者の積極的な応募も期待しています。」という一文が追記されています。

報告

平成22年度男女共同参画推進に関するシンポジウム -私立大学における男女共同参画に係る環境整備と促進-

2010年12月11日(土)に、(社)日本私立大学連盟と「女性研究者支援モデル育成事業」私立大学採択11校主催による平成22年度男女共同参画推進に関するシンポジウムが開催されました。本学は、東邦大学と共に事業採択11校の幹事校を務め、岡崎 トミ子内閣府特命担当大臣からの応援メッセージを、本学の山岡 三治先生(総務担当理事 男女共同参画推進本部長)が代読されました。

シンポジウムは、女性研究者支援モデル育成事業私立大学採択11校によるポスターセッション実施の後、河村 潤子氏(文部科学省 高等教育局私学部長)による「私立大学における男女共同参画への期待-現状と課題を踏まえて」と題した基調講演、男女共同参画に関するアンケート報告、4大学による各大学の男女共同参画に対する取り組み紹介及びパネルディスカッションが行われました。



第5回女子学生キャリアアップ支援コロキウム&育児支援セミナーを開催

2010年11月26日(金)に、第5回女子学生キャリアアップ支援コロキウム&育児支援セミナーが行われ、18名が参加しました。今回は、化学科OGで(株)東芝勤務の宮野 ゆみこ氏をお迎えし、「働きながらの子育て～3人の子供ととともに～」と題し、3人の子育てをしながらの仕事と育児の両立方法についてお話し下さいました。例えば、保育園だけではなく、幼稚園の制度を利用したこと等、お子さん1人1人の例をもとに説明された他、子育てを始めてからの仕事へのスタンスについても具体的なエピソードを交えながら、述べられました。学生へのメッセージとして、完璧を目指さないこと、保育園・幼稚園、両親等、周りの環境に対して感謝の気持ちを忘れないようにすることやコミュニケーションをよくとることも大切だとお話されていました。参加者からは、「将来結婚、出産後仕事を続けられるの

かどうか不安に思ったり、悩んだりしていたが、働く女性のお話を聴くことができて、将来のビジョンを考えるのに非常に参考になった」、「働き続けられる環境と本人の意志・家族の意見等、岐路に立った時にどう考えたかがえてよかった。」等のコメントがありました。



第6回女子学生キャリアアップ支援コロキウムを開催

2010年12月7日(火)に、第6回女子学生キャリアアップ支援コロキウムが行われ、25名が参加しました。物理学科OGで、本学大学院で理学博士も取得し、現在慶應義塾大学准教授の早瀬 潤子氏をお迎えし、「アカデミック研究者へのキャリアパス」と題した講演を行っていただきました。

最初に、早瀬氏より、研究者を志したきっかけなどをご紹介いただいた後、研究者になるためのキャリアパスについての説明がありました。研究者へのキャリアパスで多くの人を経る「ポスドク」のポジションについてさらに詳しくお話しされ、ポスドクの具体的な仕事内容や、メリット・デメリットについても説明されました。その後、現在のポジションに至るまで、所属していた機関ご

とに、雇用形態や各種制度、研究環境等について所感も含めながら、具体的に紹介して下さいました。学生へのメッセージとして、とにかくやりたいこと、好きなことを見つけて、他の人に負けない強みを身につけることが大切だと、エールを下されました。学生からは、「ポスドクとは何か、どのような雇用があるのかがよくわかった」、「大学教授への具体的なキャリアパスを知ることができてよかった。」等のコメントがありました。



〔講演を行う早瀬氏〕

EVENT お知らせ

第4回 男女共同参画セミナーの開催のお知らせ

日時:2011年2月16日(水) 13時30分～15時
場所:上智大学2号館508会議室

福島 みずほ氏
(参議院議員) ご講演!!

女子高校生のためのSophia実験教室開催のお知らせ

日時:2011年2月19日(土) 13:00～16:00
場所:上智大学3号館123教室
対象:近隣の女子高校生(主に2年生)25～30名



- ・微生物の行き残り戦略～見えない世界を見てみよう～ 齋藤 玉緒先生(物質生命理工学科)
- ・蛍光顕微鏡で細胞を見てみよう 林 謙介先生(物質生命理工学科)
- ・コンピュータを使わないでコンピュータの原理を学ぼう 高岡 詠子先生(情報理工学科)
- ～Computer Science Unplugged :カード交換の手法～
- ・電磁誘導で光るLED・磁気浮上 藤井 麻美子先生(情報理工学科)
- ・大学の物理実験～Light version～ 黒江 晴彦先生(機能創造理工学科)
- ・光と物質の不思議な関係-偏光 猪俣 芳榮先生(元化学科)



編集後記

本プロジェクトやニュースレターについて、ご意見やコメントなどありましたら、事務局までお寄せください。2011年がスタートしました。初心を忘れることなく、女性研究者の支援のために何が一番大切かを考えながら、それぞれの事業に取り組んでいきたいと思っております。

問い合わせ・連絡先:

上智大学女性研究者支援事務局

102-8554 東京都千代田区紀尾井町7-1

場所:10号館3階315室

電話:03-3238-4052

mail: wrsswg@sophia.ac.jp

http://www.erp.sophia.ac.jp/Projects/wrssupport

